

2022年12月期 第3四半期 決算説明会

井関農機株式会社

2022年11月14日

1. 2022年12月期第3四半期 業績の概要
2. 国内外市場動向
3. 2022年12月期 業績予想
4. トピックス



食と**農**と**大地**の
ソリューションカンパニー

1. 2022年12月期第3四半期 業績の概要



ポイント

<第3四半期業績>

海外好調

国内は補助金反動や米価低迷・資材価格高騰影響等で減

国内 : サプライチェーン混乱に伴う生産遅延
米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退
前期にあった経営継続補助金の反動

海外 : (北米) コンパクトトラクタ市場が調整局面に入るも、現地在庫レベル回復に向け当社出荷は続伸

(欧州) ライフスタイルの変化を捉えコンシューマー向けを中心に販売好調
景観整備向け需要も回復しプロ向け販売も増加
ISEKIドイツの連結子会社化も増収寄与

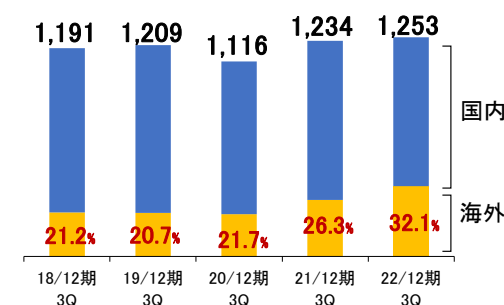
収益 : 各地域で価格改定を実施も原材料価格高騰影響の全てをカバーするに至らず収益を圧迫

<通期業績予想>

足許の状況等踏まえ修正

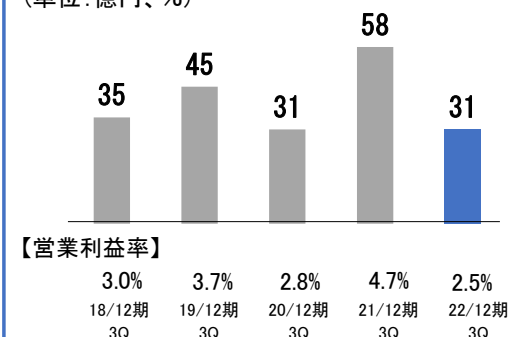
売上高推移(第3四半期)

(単位: 億円、%)



営業利益・率 推移(第3四半期)

(単位: 億円、%)



市場環境及び当社事業環境 (22/12期第3四半期)



【凡例】 ✓ =市場環境 ➤ =当社事業環境

市場環境と当社事業環境	
✓ 新型コロナウイルス感染症の影響	
＜全体＞	➤ サプライチェーンの混乱(生産用部品調達遅れ等) ➤ 原材料価格高騰
＜国内＞	➤ 展示会中止など営業活動に影響 ➤ 経営継続補助金の反動
＜海外＞	➤ 北米:コンパクトトラクタ市場が調整局面に入るも、現地在庫レベル回復に向け当社出荷は続伸 ➤ 欧州:ライフスタイルの変化に伴う需要増、プロ向け販売も回復
✓ 米価低迷、資材価格高騰	
＜国内＞	➤ 農家の購買意欲減退
✓ ロシアのウクライナへの侵攻	
＜全体＞	➤ 販売面:この地域での営業活動を行っていないため直接的な影響はない ➤ 仕入面:サプライチェーンの混乱、原材料価格の更なる高騰懸念
✓ 円安の進行	
＜全体＞	➤ 営業利益での影響は軽微
✓ 原油等燃料価格高騰	
＜全体＞	➤ 物流費・操業費アップ

連結業績の概要

(2022年1月1日～2022年9月30日)

(単位: 億円、%)

		18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比
売上高		1,191	1,209	1,116	1,234	1,253	＋ 19
	(国内)	939	959	874	909	850	△ 58
	(海外)	252	249	241	324	402	＋ 78
営業利益		35	45	31	58	31	△ 26
	営業利益率	3.0%	3.7%	2.8%	4.7%	2.5%	△ 2.2%
経常利益		27	32	28	65	38	△ 26
親会社株主に帰属する 四半期純利益		22	21	24	47	34	△ 12
為替平均 レート (円)	米ドル	109.4	109.6	107.8	107.8	124.9	＋17.1
	ユーロ	131.5	123.2	120.6	129.6	133.9	＋4.3

国内売上高

前年同期比
▲58億円

サプライチェーン混乱に伴う生産遅延や米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退
メンテナンス収入は維持

(単位: 億円)		18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比
農機 製品 農機 関連	整地機	210	213	173	188	181	△ 6
	栽培機	74	80	64	72	65	△ 7
	収穫調製機	137	141	119	117	114	△ 2
	小計	422	434	357	378	361	△ 17
	作業機	160	171	152	179	152	△ 26
	部品	113	118	119	118	119	0
	修理収入	41	43	44	45	44	0
	小計	315	333	316	343	316	△ 26
	計	737	767	674	721	677	△ 43
施設工事		49	40	56	36	32	△ 4
その他農業関連		151	152	143	151	140	△ 10
合計		939	959	874	909	850	△ 58

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品はサプライチェーン混乱に伴う生産遅延、米価低迷・資材価格高騰による購買意欲減退に加え、経営継続補助金の反動により減収
- ✓ 作業機は経営継続補助金の反動
- ✓ 部品、修理収入などのメンテナンス収入は前年同期を維持

海外売上高

前年同期比
+78億円

北米、欧州を中心に増収
ISEKIドイツ連結子会社化による増収(+20億円)

(単位: 億円)	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比	うち 為替影響
北 米	88	101	92	113	131	+ 17	+10
欧 州	108	99	92	133	198	+ 65	+12
アジア	53	44	54	73	67	△ 6	+4
その他	2	3	2	3	5	+ 1	0
連結売上高 合計	252	249	241	324	402	+ 78	+26

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北 米 : コンパクトトラクタ市場が調整局面に入るも、現地在庫レベル回復に向け当社出荷は続伸
- ✓ 欧 州 : ライフスタイルの変化を捉え、コンシューマー向けを中心に販売好調、景観整備向け需要も回復しプロ向け販売も増加
加えて、ISEKIドイツの連結子会社化(+約20億円)もあり増収
- ✓ アジア : 韓国向けの増加はあるも、中国向け半製品の出荷減などにより減収

営業利益

前年同期比

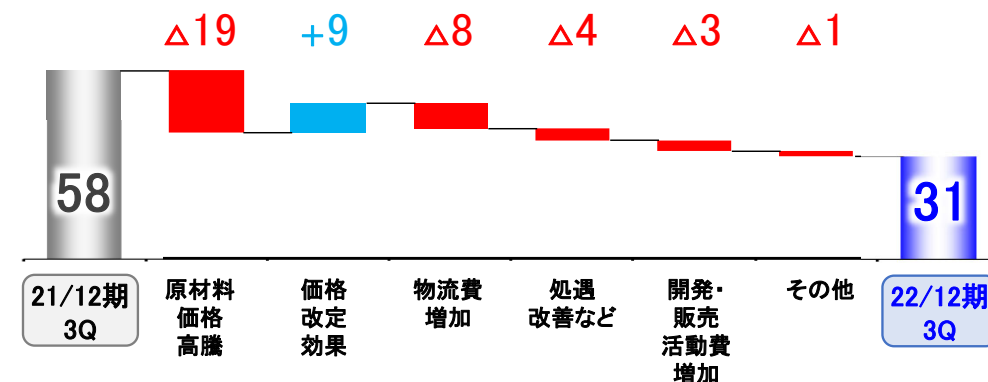
▲26億円

各地域で価格改定実施も原材料価格高騰影響全てをカバーするに至らず
収益を圧迫

(単位: 億円、%)

	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比
売上高	1,191	1,209	1,116	1,234	1,253	+ 19
売上総利益	353	358	331	372	372	0
売上総利益率	29.7%	29.6%	29.7%	30.1%	29.7%	△ 0.4%
販管費	317	312	299	313	341	+ 27
人件費	187	183	179	185	193	+ 8
その他経費	130	129	119	128	147	+ 18
営業利益	35	45	31	58	31	△ 26
営業利益率	3.0%	3.7%	2.8%	4.7%	2.5%	△ 2.2%

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+26	△22	△3	+1

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
▲26億円

前年同期にあった一過性の営業外収益の剥落や持分法による投資損失拡大はあるも
為替差益の増加により営業利益と同様の減益幅

(単位: 億円)	18/12期 3Q実績	19/12期 3Q実績	20/12期 3Q実績	21/12期 3Q実績	22/12期 3Q実績	前年 同期比
営業利益	35	45	31	58	31	△ 26
金融収支	△5	△5	△5	△4	△5	0
その他営業外損益	△2	△6	1	11	12	0
経常利益	27	32	28	65	38	△ 26
特別利益	1	1	6	0	8	+ 7
特別損失	△1	△2	0	△2	△2	0
税 前 利 益	27	31	34	63	44	△ 19
税、税調整額	△5	△10	△10	△15	△9	+ 6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22	21	24	47	34	△ 12

営業外損益増減内訳(前年同期比)

為替差益	+7億円
受取和解金の剥落	△4億円
持分法による投資損失	△3億円

特別利益増減内訳(前年同期比)

ISEKIドイツ連結子会社化影響	+7億円
(段階取得に係る差益)	(+5億円)
(負ののれん発生益)	(+2億円)

バランスシート

前年同期末比

【棚卸資産】

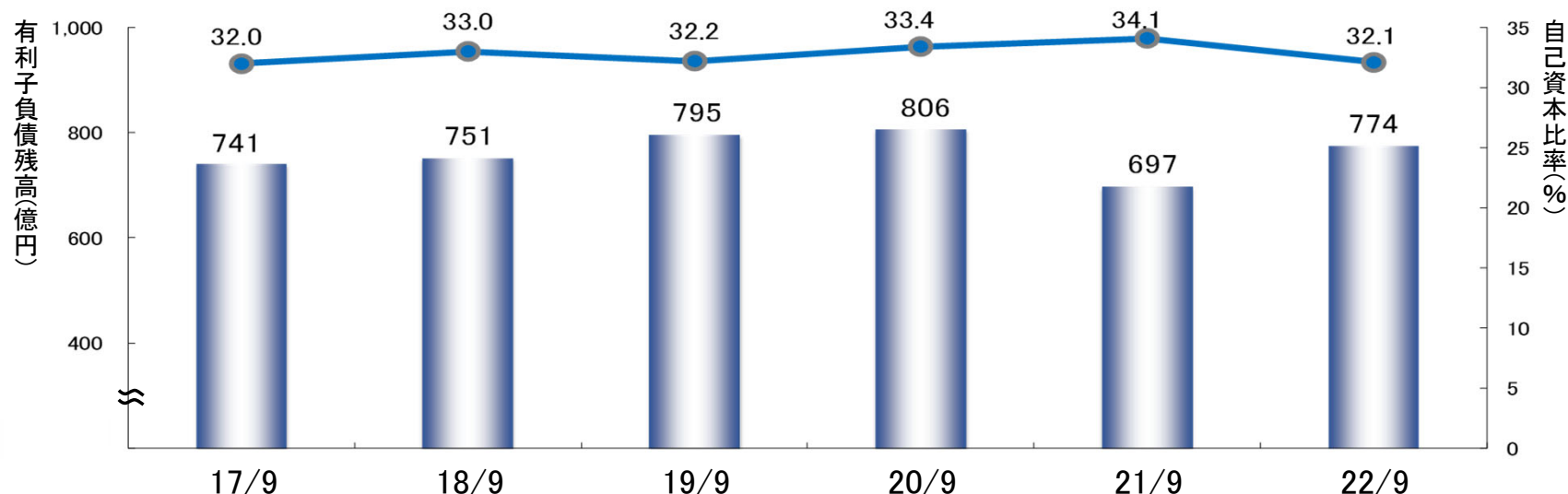
- ・商品及び製品：北米での現地調達部品不足による引き取り遅れやISEKIドイツ連結影響などにより増加
- ・仕掛品：サプライチェーン混乱により工場仕掛が増加

(単位: 億円)	21/9月末	22/9月末	前年 同期末比		21/9月末	22/9月末	前年 同期末比
現金	125	151	+ 26	仕入債務	371	420	+ 49
売上債権	313	331	+ 18	有利子負債	697	774	+ 76
棚卸資産	482	620	+ 137	(借入金)	(622)	(700)	(+77)
(商品及び製品)	(399)	(504)	(+104)	その他負債	188	203	+ 15
(仕掛品)	(70)	(100)	(+29)				
その他流動資産	42	42	0				
流動資産計	964	1,145	+ 181	負債合計	1,256	1,398	+ 141
有形固定資産	850	858	+ 7	純資産	677	725	+ 47
無形固定資産	22	24	+ 1				
投資その他資産	96	95	△ 1	(利益剰余金)	(192)	(204)	(+12)
固定資産計	970	978	+ 8				
資産合計	1,934	2,123	+ 189	負債純資産合計	1,934	2,123	+ 189

自己資本比率・有利子負債

有利子負債
D/Eレシオ

有利子負債はISEKIドイツ連結子会社化もあり前年同期比増加も例年並みの水準
D/Eレシオは1.07倍



借入金・社債	670	688	723	727	622	700
リース債務	70	63	71	79	74	74
有利子負債 計	741	751	795	806	697	774
D/Eレシオ	1.05倍	1.05倍	1.14倍	1.14倍	1.03倍	1.07倍

※D/Eレシオ=有利子負債/純資産 ※リース債務を含む

2. 国内外市場の動向

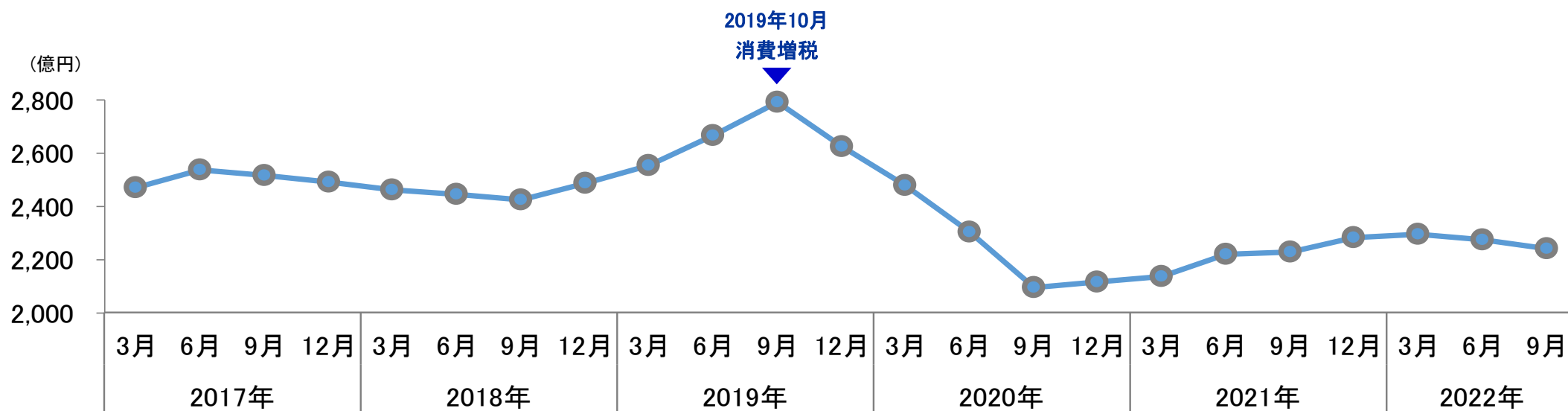


国内農機市場の動向

国内農機需要

経営継続補助金の反動や米価下落による購買意欲減退などにより弱含みで推移

■ 農機需要〔業界出荷〕(主要9機種・移動年計)



※主要9機種:トラクター、コンバイン、田植機、耕耘機、乾燥機、籾摺機、バインダー、ハーベスター、トリートメント

出所:日農工出荷統計より当社推計

■令和5年度 農林水産関係予算概算要求

2兆6,808億円

【農機需要、売上に関係のある施策例】（ ）内は前年当初予算額

◆みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業

80億円(35億円)

✓ 内、スマート農業総合推進対策事業

39億円(14億円)

◆みどりの食料システム戦略推進総合対策

30億円(8億円)

■令和4年度 農林水産関係第2次補正予算

8,206億円

◆食料安全保障の強化

1,642億円

✓ 内、肥料の国産化・安定供給確保対策

270億円

✓ 内、畑地化促進事業

250億円

✓ 内、畑作物産地形成促進事業

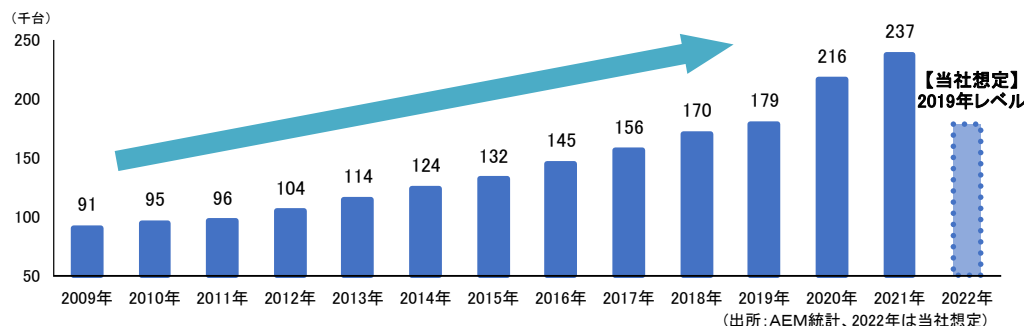
300億円

海外市場の動向（北米、欧州）

北 米

1. コンパクトトラクタ市場の動向

＜市場推移(1～12月)＞



➤ 2022年/1-9月: 前年同期比 83%

2. AGCO社(OEM先)の状況

➤ コンパクトトラクタ実売台数(2022年/1-9月): 前年同期比 75%

3. 当社の出荷・受注状況

➤ 出荷・受注(2022年/1-12月): 前年同期比 96%

欧 州

1. 市場の動向

- ・ライフスタイルの変化により、コンシューマー向け需要は、引き続き堅調
- ・景観整備プロ向けは、物流網混乱による供給遅れが続く業界全体で流通在庫低水準も、需要の回復基調は昨年より継続

2. 現地の実売状況

実売台数(2022年/1-9月)

➤ 現地販売代理店 : 前年同期比 106%

✓ ISEKIフランス社は過去最高の売上を計上

3. 当社の出荷・受注状況

➤ 出荷・受注(2022/1-12月)

: 前年同期比 106%



海外市場の動向（アジア）

タイ

1. 市場の動向

水田向け：米価低迷、肥料など資材高騰等により停滞感
畑作向け：サトウキビやキャッサバなど堅調。作物の買取価格アップもあり農家の購買意欲増進

2. 現地販売会社[IST Farm Machinery]の状況

現地実売台数(2022年/1-9月)

➤ アセアン戦略トラクタ：前年同期比 77%

✓ 畑作向け商品を充実

・AGCO製大型トラクタに加え、TAFE製小型トラクタ投入

3. 当社の出荷・受注状況

➤ 出荷・受注(2022年/1-12月)：前年同期比 84%

インドネシア・ミャンマー

1. 市場の動向

＜インドネシア＞ 政府入札予算は縮小傾向

＜ミャンマー＞ 国内情勢混乱の長期化

2. 当社の受注状況（2022年/1-12月）

＜インドネシア＞ 入札予算減少の中、受注獲得

＜ミャンマー＞ 混乱長期化により営業活動は停滞

3. PT.井関インドネシア(生産子会社)の状況

(単位：台、億円)	2021年		2022年	
	実績	3Q実績	計画	3Q実績
生産台数	15,680	11,300	17,170	12,800
営業利益	3	2	3	3

海外市場の動向（アジア）

中 国

1. 市場の動向

補助金配分遅れや米の取引価格の低迷により稲作市場停滞

◆中国 農機業界の動向：機種別 前年伸長率(台数) (単位：%)

	2020/1～8月	2021/1～8月	2022/1～8月
田植機(乗用)	133%	134%	94%
コンバイン(汎用、自脱)	113%	133%	96%
トラクタ(大中型)	132%	123%	110%

(出所)中国農業機械工業協会

2. 東風井関の状況(2022年/1-9月、現地実売台数)

- 乗用田植機 前年同期比 122%
(現地OEM半製品含む //
- トラクタ、コンバイン //

韓 国・台 湾

1. 市場の動向

＜韓国＞ 農業人口の減少や高齢化が進む中、大規模化に伴う大型・高性能農機需要の高まり

＜台湾＞ 補助金反動減で、トラクタ、コンバインが大幅減

2. 当社の出荷・受注状況 (2022年/1-12月)

＜韓国＞ トラクタ、田植機で大幅増加
✓ 大型・高性能シリーズが高評価

＜台湾＞ 前年同期比 82%
✓ 田植機、野菜移植機等の販売推進図る

3. 2022年12月期 業績予想



2022年12月期 連結業績予想



連結業績予想

営業利益 : 価格改定も原材料価格高騰が想定以上
 経常利益 : 為替差益の計上などにより前回予想と同額
 当期純利益 : ISEKI ドイツ連結子会社化による特別利益の計上

※1 当初予想 : 2022年 2月15日公表予想
 ※2 前回予想 : 2022年 8月10日公表予想
 ※3 今回予想 : 2022年11月14日公表予想

(単位:億円)		18/12期	19/12期	20/12期	21/12期	22/12期			前期比	前回 予想比
		実績	実績	実績	実績	※1 当初予想	※2 前回予想	※3 今回予想		
売上高		1,559	1,498	1,493	1,581	1,665	1,665	1,665	+ 83	—
(国内)		1,228	1,177	1,159	1,173	1,190	1,128	1,114	△ 59	△ 14
(海外)		331	321	333	407	475	537	551	+ 143	+ 14
営業利益		31	27	20	41	47	47	37	△ 4	△ 10
率		2.0%	1.8%	1.4%	2.6%	2.8%	2.8%	2.2%	△ 0.4%	△ 0.6%
経常利益		26	11	17	46	46	46	46	0	—
親会社株主に帰属する 当期純利益		10	7	△56	31	31	31	35	+ 3	+ 4
為替平均レート (円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	109.0	110.0	128.7	132.2	+23.2	+ 3.5
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	129.8	130.0	135.8	137.0	+ 7.2	+ 1.2
期末配当(円)		30	30	0	30	30	30	30	—	—

4. トピックス

■ 農業食料工学会「2022年度開発賞」を受賞

〈受賞内容〉 業務用システム炊飯器 AR5シリーズの開発

中食・外食産業の人手不足解消

【システム炊飯】

炊飯作業の全工程を自動化

【市場ニーズ対応】

遠隔管理システム、気泡洗米、洗米部乾燥機能などを搭載



(1釜仕様)

(2釜仕様)



「食」関連 その他商品

- 【ISEKIコイン精米機】
- ・自ら持ち込んだお米を
その場で精米。



新商品発表のご案内

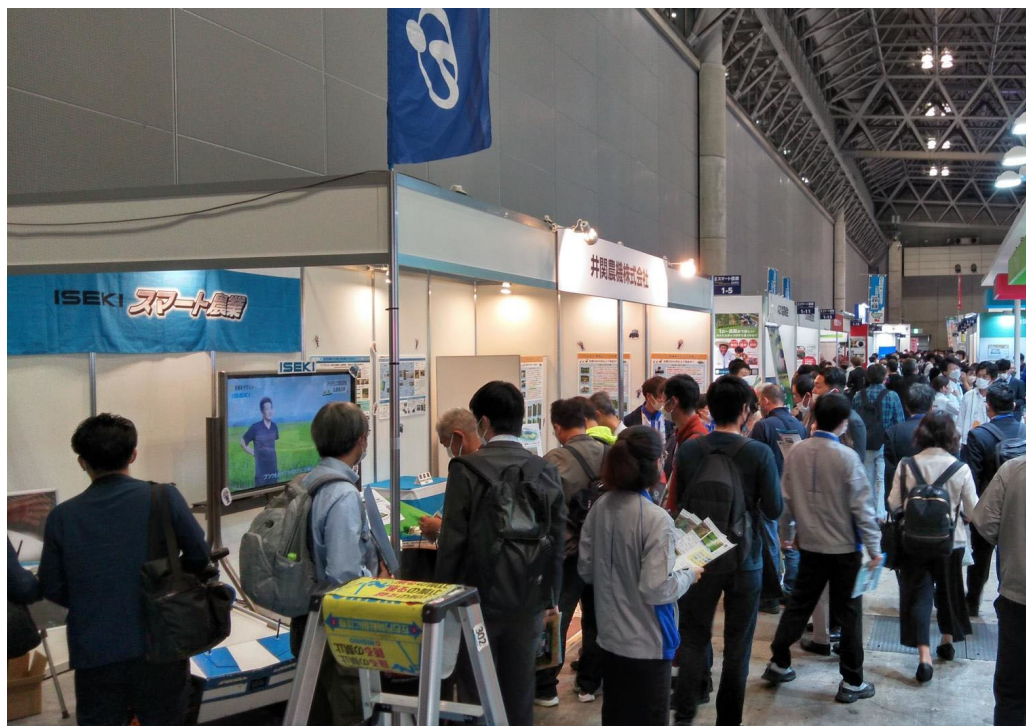


- ✓ ロボット技術・ICT等を活用したスマート農機
- ✓ 温室効果ガスの削減に寄与する
環境対応商品や取り組み



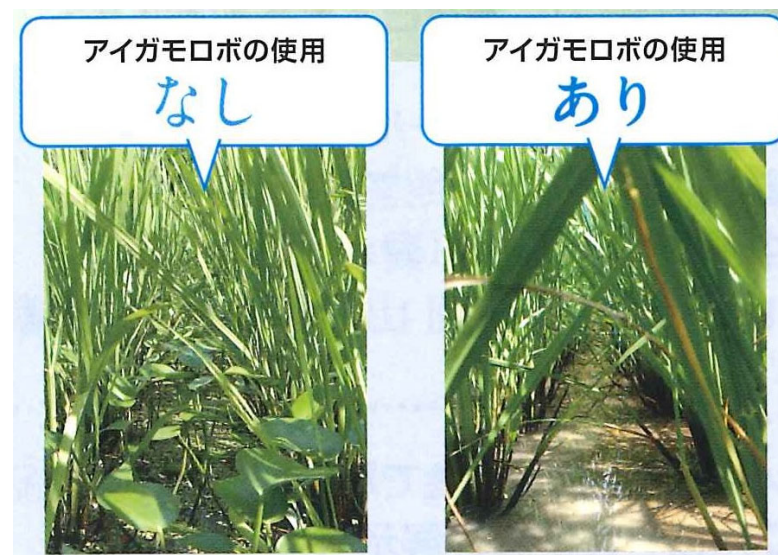
発 表 日 時	2022年12月7日(水) 13:15～15:00 (予定)
コ ン セ プ ト	脱炭素社会と循環型社会の実現へ — 変革 —
形 式	・リアル開催: 茨城県つくばみらい市 ・ホームページ、メディア発表

「アイガモロボ」注目を集める！



■「農業WEEK」2022年10月12～14日、
幕張メッセにて

実証結果の一例



有機農業の普及発展に向け「アイガモロボ」を
—当社・有機米デザイン・農研機構が共同研究—

新商品発表

「電動製品」など新商品を発表！



■ ドイツ「ガラバオ展示会」・フランス「サロンベール展示会」にて 2022年9月

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**